

DIGEST

# 環境報告書

U E C  
SUSTAINABLE  
2 0 1 6



国立大学法人  
電気通信大学  
Unique & Exciting Campus



電気通信大学は、「人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる持続発展可能な社会の実現には、人、自然、社会、人工物に関する正しい理解の下、それらの間の、もの、エネルギー、情報の交換を含む適正な相互作用に基づく価値の創造（イノベーション）が不可欠である」と考えています。そして、そのようなイノベーションをもたらすための幅広く統合化された科学技術体系を「総合コミュニケーション科学」と捉え、それに関する教育研究の実践の場として世界的な拠点となることを目指しているところです。

そのような本学が取組む環境配慮活動は、学生教職員の参加のみならず、地元調布市のボランティアグループの協力による花壇の手入れやキャンパス美化運動、大学生協によるリユース・リサイクル活動への取組、さらにエネルギーセンターや機器保守業者による機器装置等の使用エネルギー監視と最適化といった、様々な人と人との相互理解と協働のもとに進められています。

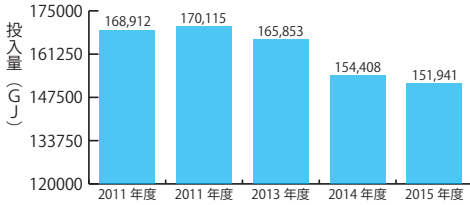
また昨年度は、京都大学や北海道大学などを中心に発足した「サステナブルキャンパス推進協議会」が実施する、「持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献する大学キャンパス」促進事業の一環であるサステナブルキャンパス評価システムにおいて、本学が行っている省エネルギー対策に関する取組がゴールド認証を獲得しました。

この環境報告書 2016 では、これらの取組を環境データとともに紹介します。そして、今後も持続可能な環境配慮キャンパスを目指し、電気通信大学の付加価値を高めていきたいと考えています。

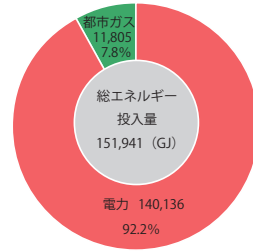
# 1 環境配慮の取組状況

## 環境活動取組結果データ

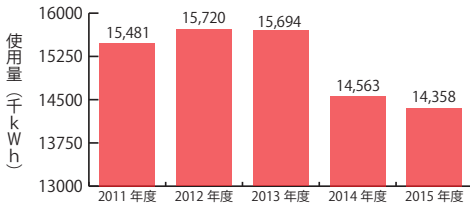
総エネルギー投入量



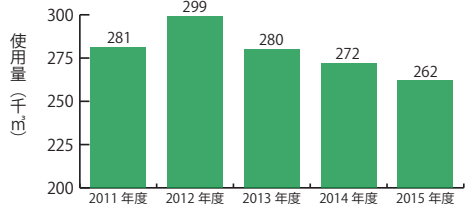
総エネルギー投入量割合



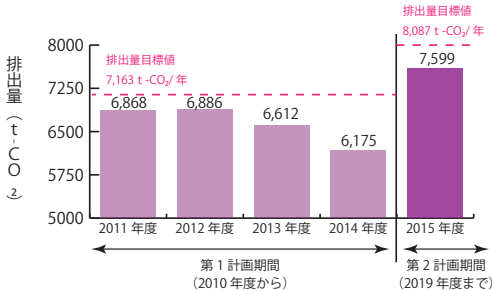
電力使用量



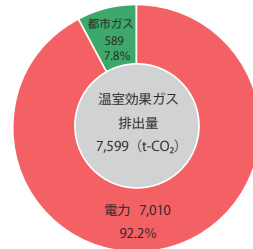
都市ガス使用量



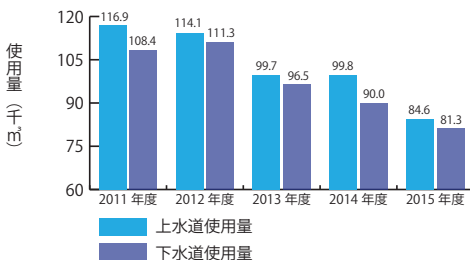
温室効果ガス排出量



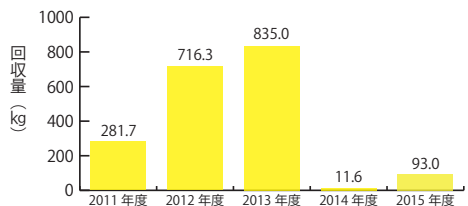
温室効果ガス排出量の割合



上下水道使用量



特定フロン回収量

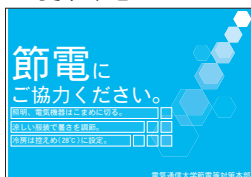


# 節電キャンペーン

空調負荷が増加する夏季と冬季に、節電キャンペーンとして、節電の協力を促すポスターを各建物や屋外各所の立て看板に掲示しました。空調の設定温度を夏季28℃、冬季19℃とする、空室時や昼休みの消灯、などに加え、新たな取組として、夏季及び長期休暇における電気温水器の一斉停止を呼びかけました。

また、電力使用量が使用目安量を超えることが予測されると全学にメールや放送で電力使用の抑制をお願いしました。

夏季節電ポスター



冬季節電ポスター



屋外立て看板



## 「SETSUDEN WARS」7割の建物が目標達成

2015年12月29日から2016年1月3日にかけて「SETSUDEN WARS 2015-2016」と題し、年末年始休暇期間中の待機電力の削減に大学全体で取り組みました。削減目標を前年度同期間の電力使用量以下としたところ、7割の建物で目標を達成することができました。

### 「SETSUDEN WARS」節電率ランキング

- No.1** 東9号館 (-24.1%)
- No.2** 東4号館 (-20.0%)
- No.3** 西4号館 (-18.3%)

※ キャンパス全体：-3.8%

## サステナブルキャンパス評価システムでゴールド認証を獲得

2016年2月に大学における持続可能な環境配慮型キャンパス構築に向けた取組の推進等を目的とするサステナブルキャンパス推進協議会（通称 CAS - Net JAPAN）による「サステナブルキャンパス評価システム（Assessment System for Sustainable Campus = ASSC：アスカ）」で、「ゴールド認証」を受けました。



# 2 特集 大学施設の耐震化が完了



【写真】講堂客席の天井裏

講堂客席の天井落下防止は、フェールセーフと呼ばれる技術を採用しており、天井下地や照明器具等をワイヤーで吊ることにより、地震の揺れが大きくなっても天井材等の落下を食い止める効果があります。

## ■より災害に強いキャンパスに

文部科学省では、新耐震基準（昭和56年施行）以前に建築された学校施設の耐震化等による安全・安心な教育研究基盤の整備を進めているところです。これを受け、本学では2000年度から建物の耐震工事に着手し、調布キャンパスで使用している耐震性の低い建物18棟全ての工事が2015年度に完了しました。

建物の耐震性を高めるに当たっては、構造計算を行い必要な個所に耐震壁や鉄骨ブレース等を新たに取付けています。また、耐震工事の実施に併せて照明器具、空調機、エレベーター等の省エネ化や洗浄機能付きトイレの設置などの改修工事を行い、建物の機能改善を図っています。さらに、体育館については、公式競技が実施できない狭い

アリーナや増加する女子学生の更衣室等のためのスペース不足を根本から解消するため、建替え工事を実施しました。

一方、近年の大規模な地震で問題になっている天井材の落下など、いわゆる「非構造部材」についても、講堂、第2体育館及び東35号館等において天井材の撤去や天井材、照明器具の落下防止対策を実施しています。

耐震化工事の実施に当たっては、工事期間中に当該建物が使用できず、多くの学生、教職員が一時的に移転を余儀なくされる等の不便がありましたが、全学の協力により無事に耐震化を完了させることができました。

## ■職員宿舎の耐震化

調布キャンパスの南側に隣接する小島町地区には築40年を超える職員宿舎6棟が建っており、これらの耐震・老朽対策が急務となっていました。この地区を新たに100周年キャンパスとして、学生宿舎2棟、職員宿舎1棟、共同研究施設1棟の建設が現在進んでいます。

実施に当たって、大学は事業者の費用で建設した建物4棟を受取り、事業者はこれらを40年間にわたって運営することで賃料収入を得るPPP方式(※)を採用しています。

100周年キャンパスは2017年2月に完成予定です。



100周年キャンパス完成予定図

※ PPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)：公民が連携して公共サービスの提供を行うこと

Before & After

### 耐震化でこんなに変わった！

< Before >

< After >

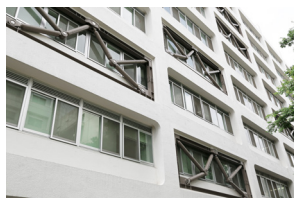
本館



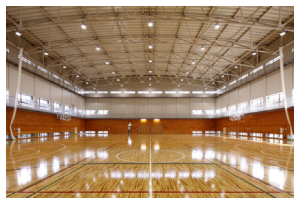
西1号館



西2号館



体育館



# 国立大学法人電気通信大学環境方針

わたしたち人類は文明の発展とともに、地球の温暖化、化学物質による汚染など、さまざまな環境問題に直面しています。

電気通信大学は、人類にとって地球環境の保全が最も重要な課題の一つであるとの認識に立ち、自然と人間の共存、環境との調和に寄与し、教育・研究活動による環境負荷の低減に努めます。また、武蔵野の面影が残る緑豊かなキャンパスを維持し、地域に貢献し開かれた大学を目指します。

このため、次の事項を推進していきます。

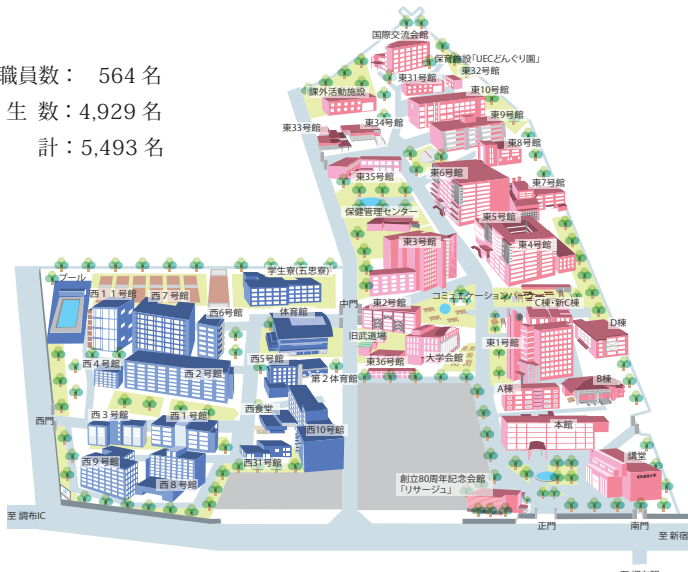
1. 教育・研究活動から生じる環境負荷の低減と、環境の維持・改善
2. 省エネルギー・省資源、資源リサイクルへの取り組みの推進、グリーン購入の徹底
3. 本学に適用される環境関連法規、条例等の遵守
4. 武蔵野の地にふさわしい緑豊かなキャンパスの保全、環境の維持・改善活動のための地域社会や自治体との連携・協力
5. この環境方針を達成するために目標の設定と、教職員、学生及び学内関連事業者の協力による実現

この環境方針は文書化し、本学の教職員、学生、大学生協など常駐する学内関連事業者に周知するとともに文書やインターネットによるホームページを通して、本学関係者以外へも広く公表します。

平成18年9月25日

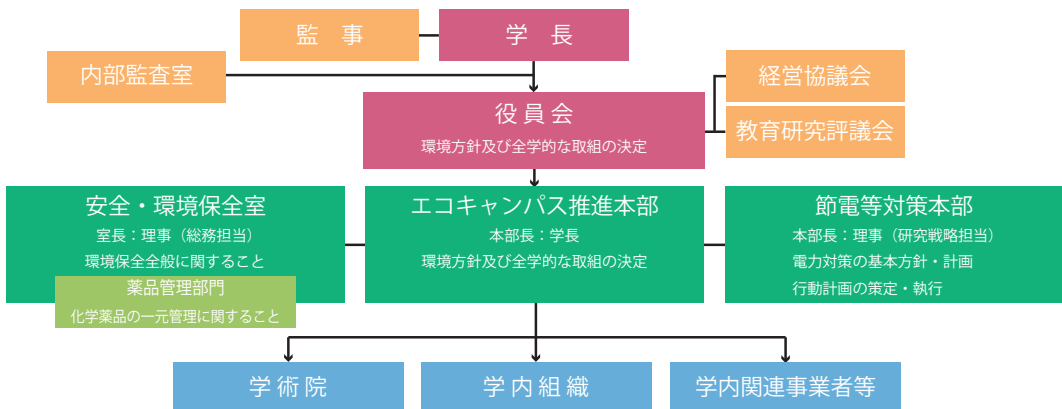
# 大学概要

- 国立大学法人電気通信大学
- 教職員数： 564 名
- 〒 182-8585
- 学生数：4,929 名
- 東京調布市調布ヶ丘 1- 5- 1
- 合 計：5,493 名
- 土 地：115,433㎡
- 建物面積：140,152㎡
- 情報理工学域（3類、1課程）
- I類（情報系）/ II類（融合系）/ III類（理工系）/ 先端工学基礎課程
- 大学院情報理工学研究科（4専攻）
- 情報学専攻 / 情報・ネットワーク
- 工学専攻 / 機械知能システム学
- 専攻 / 基盤理工学専攻



## 環境配慮の推進体制

環境保全活動を計画・実施し、環境配慮の対策を行うための体制は以下のとおりです。



### 環境報告書の作成にあたって

- 参考としたガイドライン等
  - 環境省『環境報告ガイドライン（2012年版）』/2012年4月
  - 環境省『環境報告書の記載事項の手引き（第3版）』/2014年5月
- 対象年度 2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）
- 対象組織範囲 電気通信大学調布キャンパス（学生寮、国際交流会館は除く）
- 環境報告書の編集・問い合わせ先
  - 国立大学法人電気通信大学 安全・環境保全室
  - 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 Tel: 042-443-5052 FAX: 042-443-5056
  - ホームページからのお問い合わせ: <https://www.uec.ac.jp/inquiry/>
- 外部への情報公開事項
  - 本編は本学ホームページにて公開しています。 <http://www.uec.ac.jp/about/publicinfo/eco.html>

